

独立行政法人 国際協力機構
中南米地域 広域・フードバリューチェーン強化における
本邦技術活用のための情報収集・確認調査

調査の背景

中南米地域は、農業生産ポテンシャルの高い国が多く、世界及び我が国の食料安全保障上重要な地域である。同地域では、豊富な農産物原料を基にフードバリューチェーン(FVC)構築への取り組みが進められているが、生産、加工、流通、消費の各段階において改善の余地は大きい。同地域の経済成長や貧困削減にとってFVCの構築・強化は、域内における付加価値の増大や地場産業の育成を通じた雇用創出への貢献が大きい重要な課題である。

同地域は約6.3億人の人口を抱え、210万人を超える日系人が暮らし、近年は富裕層を中心に日本食への関心も高まりつつある。また、同地域FVCの構築・強化に貢献可能な技術・ノウハウを有する日本企業は数多く存在する。しかしながら、FVCの各段階における現地技術ニーズ、ビジネスチャンス、有望なビジネスパートナーや投資環境等に関する情報の不足から、日本企業の同地域に対する事業展開は未だ限定的な状況である。

国際協力機構(JICA)は民間企業活動の触媒機能を果たしつつ、生産性の向上/地球規模課題(気候変動対策、環境保全)/格差是正に対し、日本の技術・経験を活用し取り組むこととしている。中南米地域におけるFVCの構築・強化は、地場産業の育成や域内付加価値の増大を通じて、雇用創出、貧困削減(SDGs)に貢献しうる。

調査の目的

1. 中南米地域のFVCに関する基礎情報、FVC強化に向けた課題、同課題の解決に資する日本の技術・ノウハウ等の情報の収集・分析
2. 今後の日本企業の海外進出の実現に向けた課題、留意点等の整理
3. 国内外でのセミナー開催等を通じ、日本企業とのビジネス関係構築に関心を示す現地調査対象国(5か国)の公的機関、現地企業と中南米地域への事業展開に関心を持つ食・農産業分野の日本企業等との情報の共有

調査期間 2019年3月5日から2020年3月6日

調査概要

1. 中南米FVC進出に興味を持つ企業や機関からのヒアリング(30社)
2. 日本企業の意向のもと、対象調査国5か国を選定
3. 対象調査国での現地調査
4. 日本企業・関係機関への現地調査結果の報告(国内セミナー)
5. 中南米FVCとのビジネス連携の提案募集
6. 提案企業から5社選定
7. 提案企業との現地共同調査(10月～11月)
 - 提案企業と現地のビジネスパートナー候補を訪問し、ビジネス環境等について情報収集)
 - 現地セミナーの開催(日本企業が有する技術、製品、サービス等を紹介)
8. 招へい事業:現地公的機関の担当官、企業・業界団体の代表による日本企業の観察、意見交換

本調査を通じた提案企業への支援

1. 企業参加型のオーダーメイド調査(各社1名/5社を想定)

- 受注コンサルタント企業と共に提案が採択された企業との現地共同調査を実施(渡航費を含む現地調査費はJICA負担)
- JICAが有するネットワークを活用し、相手国の政府関係者、民間企業、関連団体等と今後のビジネス展開に向けた人脈作り、ビジネスアイディアの具現化に向けた情報収集

2. 現地セミナーでの発信

相手国の政府関係者、民間企業、関連団体等に対し、調査結果、提案企業の技術・製品・サービスの紹介を含む現地セミナーを開催(100名程度)。

受注コンサルタント企業:(株)パデコ